

全 体 評 価

「学識経験者の意見」

・各課ともそれぞれの目的達成に向けて努力され、成果を出されている点は、高く評価できると考えています。

今後、教育委員会としての機動性をより高めるためには、より大ぐくりな組織に変えて、人的効率を図っていくことも必要ではないかと考えます。

・新居浜市教育委員会は定めた教育基本方針に則り、各課それぞれに最重要課題、重点目標を掲げ、その実現化に向け事業を決定し、改革改善を重ね創意工夫を図って一つの事業をチャレンジ精神で意欲的に推進しています。年々達成度が高まり大きな成果をあげています。高く評価します。

・地域主導型公民館へ移行していく中で地域を創るのはやはり自分たちという意識の高まり、地域の特色を掘り起こしその中から事業を企画して推進していく、地域再構築の動きが出てきたことは大変に素晴らしい。

・子ども健全育成事業の成果で、学校と家庭の連携の上に更に地域住民の人々の力が加わり、みんなで子どもを豊かに育んでいこうとする風土の醸成が感じられるようになった。地域の教育力が芽生えつつある。

・住民が生涯学習で習得してきた力、職業生活で培ってきた力を地域の中に生かしていこうとする意欲ができつつあること、大きな進展と評価します。

・未来を担う子どもたちの豊かな心の育成を期して創意工夫のもと「こころのことばコンクール」「子どもと教育を語るつどい」「にははま子ども環境サミット」「防災教育」「食育教育」「別子銅山子ども探検隊」・・・等が開催され、生き生きと活動する中に自ら学ぶ力、コミュニケーション力、自立心がしっかりと培われつつあることが実感できます。

・子どもも大人も学校で地域で郷土を調べる学習が進み、関心が高まり郷土に誇りを持つ郷土愛が育まれつつあることが実感でき、力強く感じます。

・学校図書館支援員と学校との密な連携で読書好き子どもの増加、調べ学習の向上にはめざましいものがあり、益々の拡充を期待します。

・発達支援課の創設で障がいや発達課題のある子どもが地域の中で安心して育ち、学び、社会の中に自立しているような支援体制がスタートしたことは素晴らしい進展である。

どの課も全力で真摯に事業推進に力を尽くし拡充進展していること評価します。
今後益々市民に信頼される教育行政を展開して行って下さい。

「評価結果等を踏まえた今後の取組の方向性」

公民館につきましては、今後も地域住民の主体性を尊重した活動を推進するとともに、平成20年度から取り組んでいる地域主導型の公民館運営への移行を推進してまいります。各校区の実態を踏まえ、地域のコミュニティーの活性化を図るために各種事業を実施するとともに、今後の公民館活動、地域づくりの中核となって活動する人材の育成に向け、志縁人養成塾を継続し、本市独自の資格を付与する研修を実施します。

また、放課後や長期休業日の子供の居場所づくりのために、地域を挙げて取り組む放課後子どもプラン、別子山の自然や別子銅山の植林活動などを通じて環境を大切にすることを学ぶ子ども環境キャンプを初め、子供たちに様々な体験活動を提供することも夢未来事業を推進してまいります。

次に、学校教育の充実につきましては、地域に開かれた特色のある学校を目指して、学校へ行こう日（デイ）、教育懇談会、夢広がる学校づくり推進事業、にいはまスクールエコ運動等の実施を通じ、地域と学校とが一体感を持って地域の方々が魅力を感じる学校づくりに努めてまいります。

次に、特別支援教育の充実・体制の整備につきましては、個別相談、幼稚園、保育園などへの巡回相談、早期相談事業を充実させ、子供一人一人の教育ニーズに対応し、個別の支援計画により、関係機関が連携し、一貫した支援を行ってまいります。

また、新居浜市の特別支援教育の中核的機能を持たせたこども発達支援センターが平成22年10月に開所いたしました。更なる機能強化、充実に向けて取り組んでまいります。

次に、図書館機能の拡充につきましては、市民の自主性、自発的な学習活動を支援するため、資料、情報提供の推進及び学習機会の提供、移動図書館の運営、ブックスタート実施事業等により利用促進を図るとともに、学校、PTAその他各種団体と協力しながら学校図書館の整備にも努めてまいります。

今後も教育基本方針に沿った最重要課題の解決、重点目標の達成に向け、迅速な対応ができるよう組織体制を常に見直し、すべての市民の皆様が、健康で心豊かな人間性を自ら養い、個性を発揮できる教育の充実に努めてまいります。

参 考 资 料

平成22年度教育委員会自己点検・評価事務事業等一覧表（69事業）

担当課所	事業番号	事務事業名	H22 学識 経験 者意 見	自己点検評価						備考
				妥当性	効果性	効率性	妥当性	効果性	効率性	
				H22年度評価 (H21年度事業)			H21年度評価 (H20年度事業)			
社会教育課	1	社会教育団体育成費 (市PTA連合会活動補助金)		B	C	C	B	C	C	
	2	公民館いきいきプラン推進事業	○	A	B	C	A	C	B	
	3	放課後子ども教室推進事業	○	A	B	B	A	B	B	
	4	公民館活動リーダー「志縁人養成塾」の開設		A	C	C	A	B	B	
	5	公民館管理運営費		B	B	B	B	B	B	
	6	公民館生涯学習事業		B	C	C	B	C	C	
	7	公民館職員研修事業		B	C	B	B	C	B	
	8	公民館施設環境整備事業		A	A	B	B	B	B	
	9	成人式開催事業		B	C	C	B	C	C	
	10	こども夢未来事業		B	B	B	B	B	B	
	11	学校開放事業		B	B	B	B	B	B	
	12	子ども見守り活動		A	B	B	A	B	B	
	13	こころのことばコンクール事業		A	A	B	A	A	B	
	14	別子ハイツ自然学習館管理事業		B	C	B	B	C	B	
	15	学校支援地域本部事業	○	A	B	B	A	B	B	
	16	地域交流センター建設事業		B	B	B	B	B	B	
	17	校区まちづくり推進事業	○	A	B	C	—	—	—	新規事業
	(青少年センター)	18	補導活動充実費		A	B	B	A	B	B
学校教育課	19	教育懇談会	○	B	C	C	B	C	C	
	20	子ども会議		A	A	B	—	—	—	
	21	新居浜市小・中学生科学奨励賞		A	A	A	A	A	A	
	22	子ども環境サミット		A	B	B	A	B	B	

学校教育課	23	奨学金		A	B	B	A	B	B	
	24	いじめ・不登校問題等対策費 (適応指導教室)		A	B	B	A	B	B	
	25	生きた英語教育推進事業	○	A	B	B	A	B	B	
	26	小学校教育充実費		A	A	B	A	A	B	
	27	中学校教育充実費		A	A	B	A	A	B	
	28	小学校施設環境整備事業		A	B	C	A	B	C	
	29	中学校施設環境整備事業		A	B	C	A	B	C	
	30	小学校耐震補強対策事業		A	A	B	A	A	B	
	31	中学校耐震補強対策事業		A	A	B	A	A	B	
	32	小学校教育用コンピュータ整備費		B	B	C	B	B	C	
	33	中学校教育用コンピュータ整備費		B	B	C	B	B	C	
	34	小学校夢広がる学校づくり推進事業		A	A	B	A	A	B	
	35	小学校ハートなんでも相談員設置事業		A	B	B	A	B	B	
	36	中学校ハートなんでも相談員設置事業 (スクールカウンセラー設置)		A	B	B	A	B	B	
	37	いじめ・暴力から身を守る学習事業費	○	A	B	B	A	B	B	
	38	私立幼稚園私学助成費		B	B	B	B	B	B	
39	スクールソーシャルワーカー活用事業		A	B	B	A	B	B		
40	学校図書館活性化推進総合事業		A	B	B	—	—	—	新規事業	
発達支援課	41	小学校特別支援教育充実費		A	A	A	A	A	A	
	42	中学校特別支援教育充実費		A	A	A	A	A	A	
	43	発達支援教育運営費		A	B	B	—	—	—	新規事業
	44	発達支援教育充実費	○	A	B	B	—	—	—	新規事業
	45	幼稚園特別支援教育充実費	○	A	A	A	—	—	—	新規事業
体育文化課	46	青少年育成スポーツ活動費		B	C	C	B	C	C	
	47	各種全国大会出場補助金		A	A	C	A	A	C	
	48	駅伝大会補助金		B	B	B	B	B	B	

体育文化課	49	全国招待少年剣道大会補助金		B	B	B	B	B	B	
	50	体育施設環境整備事業	○	A	B	B	B	B	B	
	51	体育施設建設基金		A	A	A	A	A	A	
	52	文化財保護事業		A	B	B	A	B	B	
	53	芸術文化振興事業	○	A	A	B	A	A	B	
	54	文化施設環境整備事業		A	B	B	B	B	B	
	55	文化振興基金		A	A	A	A	A	A	
	56	国民体育大会振興費		A	B	C	—	—	—	新規事業
(郷土美術館)	57	郷土美術館充実事業	○	A	A	B	A	A	B	
(広瀬歴史記念館)	58	広瀬歴史記念館充実事業	○	A	B	B	A	C	B	
学校給食課 (学校給食センター) (高津共同調理場)	59	給食運営事業		A	B	C	A	B	C	
	60	学校給食センター管理運営事業		A	B	B	A	B	B	
	61	高津共同調理場管理運営事業		A	B	B	A	B	B	
	62	給食運営改善事業	○	A	A	C	A	A	C	
図書館	63	移動図書館運営事業	○	A	B	B	A	B	B	
	64	図書館利用促進事業	○	A	B	B	A	B	B	
	65	ブックスタート実施事業		B	A	B	B	A	B	
	66	図書館整備事業		B	A	C	B	A	C	
	67	地域活性化支援、行政支援、健康支援事業		A	B	B	A	B	B	
	68	学校図書館支援推進事業	○	B	A	B	B	B	C	
	69	緊急雇用図書館資料活用事業費		A	A	B	—	—	—	新規事業

(自己評価基準) A 非常に良い、B 概ね良い、C 普通、D やや良くない、E 非常に良くない

平成21年度点検・評価における学識経験者の意見に対する取組状況 (平成20年度事業)

担当課：社会教育課

学識経験を有する方からのご意見	取組状況
<p>《事務事業名》</p> <p>公民館いきいきプラン推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の重点目標と実施している事業との関係、更に、その事業を実施するにあたっての地域の特性・資源などの活かし方をもう少し明確にする必要がある。 ・「地域を創る」「地域活動の拠点施設」という視点からすれば、それぞれの公民館がどのような地域づくりを目指しているのか、デザインづくりを進める必要がある。 ・地域主導型公民館への移行と共に各公民館の事業内容も再評価し、予算も均等でなく、傾斜配分していき、各館の特色がより出ることを期待します。 ・「役に立つ公民館」「役に立つ社会教育」を目指し、時代に即応した魅力的事業を企画、推進し、成果をあげている地区が増えていることは評価します。しかし、未だ前年度事業の踏襲的な地区もあり、更に刺激し合う機会の中から、どの地区も積極的、意欲的に住民のニーズに合った事業を創出していくよう取り組んでいただきたい。 	<p>前年度事業の踏襲も多く、地域の特色を出しきれていないところも多くあります。地域主導型公民館へと移行したところが多くなり、これを機に新たな事業を展開してまいります。今後は、この事業の趣旨を一步進め、校区まちづくり推進事業、地域の誇りを生み出すきっかけとなる事業等新たな事業を創出していくことが重要であると考えております。</p>
<p>《事務事業名》</p> <p>放課後子ども教室推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室内の活動から体験活動への取組へ進んでいる点は素晴らしい。なお、この事業では、どれだけ多様な地域住民がこの事業に参加していくようにするかが重要になる。 ・時には、この事業に通学合宿を絡められないであろうか。 	<p>現在ある7教室は、数年間継続実施しており、本事業が地域に浸透し、ボランティアとして参加してくださる方は増加しているよう</p>

・所管は違うが、放課後児童クラブとの統合運用を子供たちのために、是非とも実施するべきであろうと思います。

・放課後、子どもたちを地域の中で様々な世代の人たちと体験を主体とした交流活動を展開して育んでいく事業は重要です。

「子どもは地域の宝」、みんなで守り育てるという思いで、一層の継続推進を望みます。

です。今後も積極的な声掛け等を行い、より多くの地域の方に事業に参画いただき、地域をあげて子どもを守り育てるという雰囲気の醸成につなげてまいりたいと存じます。

平成22年度は、県の補助事業を活用し、放課後児童クラブの児童と一緒に遊べる遊具類を購入するなど連携事業の促進を図ってまいります。

統合運用については、現状では事業を合同実施する程度にとどまっており、福祉部局との調整を図りながら、今後検討してまいりたいと考えております。

《事務事業名》

「公民館活動リーダー（志縁人）養成塾」の開設について

・塾の修了者同士が自主的に体験をぶつけあい、研鑽する交流会を設ける方向に向けていく必要がある。

・修了者が、学校支援地域コーディネーターや公民館講座の企画運営者として活躍しているが、それと共に、修了者による新たな事業を企画展開するような仕組みを考えていくことも大事ではないだろうか。

・最初の人材選定から、終了後の人材活用場所（力の発揮場所）までを有効にできるようなシステムの確立をすべきと思います。

・地域主導型の公民館では、特に有効活用することを真剣に考えて

修了者の活躍の場の確保は、整備されていない現状にあります。

ワークショップ等で企画立案した内容を、志縁人養成塾以外の場で持ち寄り、実行に移せるような方法を考えていきたいと思います。

修了者については、公民館といかにつなぎ、その活動の中に組み込んでいけるかを検討する必要がある

<p>いただきたいと思ひます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の人材育成を目指して「公民館ルネサンス塾」に更に実践的で系統的な学習プログラムを取り入れて開設し、その修了者に修了証を発行し、地域に入りリーダーとして活躍していただくといった前年度に改善を加えた努力は評価します。しかし、活動している人が修了者の1/2程度に止まっているのは残念です。学習、実践した力を地域に貢献、還元しようとする意欲、チャレンジ精神の高揚を図っていただきたい。 	<p>ため、今後公民館長会や各校区の運営審議会で人材を紹介し、修了者が活動しやすい地盤を作るとともに、事業への参画を促していきたいと考えております。</p>
<p>《事務事業名》</p> <p>公民館生涯学習事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座の修了者が、最終的にはその成果を地域に還元していくように仕向けていく必要がある。 ・講座内容を根本的に見直すべきと思ひます。対象者も意欲と意志と目的を持った方々に焦点を当てていくべきと思ひます。余った予算はより有用な事業へ再配分していただきたいと思ひます。 ・「地域主導型公民館」に移行した地区では、従来型のものでなく、魅力的で新鮮な講座に挑戦し、住民の要求を満たし、実績をあげているのは高く評価します。しかし、未だ校区によってはマンネリ化した教養、レクリエーション的な講座にとどまっています。住民のニーズにタイムリーに応えられる創意工夫を図った講座をプランニングしていただきたい。 	<p>地域ニーズを反映した事業計画に基づき予算配分を行っておりますが、高齢者講座、婦人講座など受講者を特定した講座運営を改変し、受講生自ら講座を企画し、自らのニーズに合わせた講座を実施している校区も増加しております。こうした取組を他校区にも広げていきたいと考えております。</p> <p>また、受講生が地域活動に積極的に参加できるよう、講座実施時に地域の行事や取組を紹介するなど、学習成果を地域に還元できる仕組み作りを考えてまいります。</p>

<p>《事務事業名》</p> <p>学校支援地域本部事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校側の理解がなかなか進んでいない。外堀（環境づくり）から始めて、部活や行事への参加、そして内堀（授業のサポーターなど）へと進んでいく必要がある。 ・学校教育課との連携をどのように図るかが課題であろう。成功している事例もかなりあるようなので、それらを学校側に提示していく機会などを作っていく必要がある。 ・目的は非常によい事業なので、早く形式的なものから実質的活動となるように強く指導していただきたいと思います。実質的なものになれば、補助事業を終了しても市単独でも実施していくべきものと考えます。 ・予期せぬ問題行動を起こしたり、社会規範を踏みはずす子どもが増えている今程、地域全体で学校を支援し、共に育てていく仕組みが必要な時はありません。新規事業としてスタートしたことを評価します。平成20年度は体制作りを力尽くされたのですが、来年度より地域コーディネーターを中心に地域教育協議会がフル活動して、学社連携のもと着々と効果をあげていくよう取り組んでいただきたいと思います。 	<p>実施校においては、事業が浸透してきているところもありますが、学校側からの要望と地域でできることとの調整が難しいケースもあります。日頃の公民館活動の中で地道にPRし、連携を強化してまいります。</p> <p>支援活動もコーディネーターを中心に具体的・継続的に取り組む体制ができつつあります。今後も学校と地域、家庭が一体となって子どもたちを支えていけるよう、文部科学省委託終了後を見越した事業展開を図りたいと考えております。</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人式は、そろそろ甘やかしかつから厳しさを知らしめる取組と地域の方々がよりたくさん出席していただけるような方式に変えていくべきと考えます。 	<p>成人式の運営方法（警備の方法、分散開催の可否等）については、引き続き社会教育委員会議において、様々な立場の委員の意見を聴きながら検討してまいります。</p>

・子ども見守り活動については、それぞれの組織団体は大変頑張っ
ていただいているが、統一的な活動を情報交換しながら、より協力
的に行えるよう強力に指導していくべきと考えます。

その校区に合った無理のない活
動を継続していく観点から、校区
によって活動内容、協力者の構成
が異なっており、統一的な活動の
実践には至っておりません。

今後は、各団体の活動状況や活
動を通して生じてくる問題点の解
消方法等の情報交換の機会を創出
したいと考えております。

担当課：学校教育課

学識経験を有する方からのご意見	取組状況
<p>《事務事業名》</p> <p>子ども環境サミットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが取り組める「エコ運動」の具体が見えにくいため何ともいえない。サミットに参加した子どもが、学校でどのような活動をしているか、その活動を地域にどのように広げようとしているのか。 ・継続実施をし、より多くの学校、より多くの児童の意識を高めてほしいと思います。 ・環境問題に詳しい企業の助力を得てもよいと思います。 ・この事業を推進していく中で、子どもたち自らが地球規模での環境保全に関心を持ち、学習を広げ、自分たちにできるエコ活動を探し実践していく迄に成長している姿、素晴らしいと拍手。この2年間、「子ども環境サミット」を見聞させていただき、未来に向け自分たちの環境を自分たちの手で守っていこうとする意識の高さに大人として反省を込めて感動しています。「スクールエコ運動認定校」を増やし、刺激し合う中で一層に充実していくことを期待します。 	<p>環境問題は、現在の重要な課題として学校教育においても取り組んでいますが、学校によって取組方法が異なります。そこで、夏季休業中に行われる「子ども環境サミット」において、各学校の取組を紹介し合い、環境に対する意識をより高めるようにしております。短時間で目に見えるような大きな成果は期待できませんが、継続した取組の中から地域への広がりや学校独自の取組の向上を期待しています。</p> <p>また、平成21年度は新居浜工業高等専門学校の協力をいただき開催いたしました。</p>

《事務事業名》

いじめ・不登校問題等対策費(適応指導教室)について

- ・いじめ、不登校問題はケースにより対応が違うし、あせらずに取り組む必要がある。当人への対応だけでなく、学級、学校、地域、家庭への対応が必要であろう。
- ・当人だけでなく、保護者がどう対応したらいいか、思い悩んでいる。保護者相互が悩みをさらけ出す場でもあればいい。民間にそうした場がないだろうか。
- ・潜在的ないじめ、不登校は数多く存在している。それへの対応も考えていく必要がある。
- ・非常に効果が上がっている事業であれば、増員して受入人数の拡大を図ってもよいと思います。また、家庭訪問等による親子のケア事業にも、より力を入れていくべきと考えます。
- ・従来に増して、平成20年度からはカウンセリング、学習指導に力をいれ、体験活動とうまく連動させながら個々に応じた指導を徹底した成果として、前向きに進む自信がつき、学校へ復帰、高校へ進学できた子が増加しています。この教室の本来目指している目標が、達成されつつあることを高く評価します。一方、この教室に通級したい気持ちは持っているが、なじめない子、動けなくて自宅に留まっている子どもの行ける場所はないのでしょうか。更なる方策の一考を願います。

いじめ問題に対しましては、学校における毎月の調査を中心に早期発見、早期解決に努めております。いじめの認知件数は、平成19年度から確実に減少していますが、1件の発生が重大事案につながる可能性がありますので、未然防止、早期発見、早期解決に継続的に取り組めます。

不登校問題には、小中連携による中1ギャップの解消を中心に継続して取り組んでいます。平成21年度中学生の不登校発生率が全国平均を下回り、成果が現れてきています。今後も未然防止、問題解決に取り組んでいきます。さらに、保護者、地域、関係諸機関等との連携を密にして様々な子どもたちに対応できるように努めます。

<p>《事務事業名》</p> <p>小学校耐震補強対策事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は児童生徒のためだけでなく、災害時にあっては地域住民の避難場所でもある。早急に対応して欲しい。 ・計画を早められてもよいと思いますが、難しいようですね。 ・安心・安全な施設を目指し、計画に従い着々と実施できていることを評価します。1日も早い完了を期待します。 	<p>平成24年度に、耐震化が完了できるよう、計画に沿って実施しています。</p>
<p>《事務事業名》</p> <p>中学校ハートなんでも相談員設置事業(スクールカウンセラー設置)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生で相談に来る生徒はまだいいが、悩みながら相談に来ない生徒をどうするかが重要になっている。周囲から、自ら観察して気になる生徒に対しては、相談員の方から近づいていく必要がある。 ・教職員でストレスを抱え、あがき苦しんでいるものが多い。気軽に教職員が悩みを吐き出せるカウンセラーであってほしい。 ・学校教育の中での相談事業は、今や大変大きな比重を占めていると思います。予算を増額し、相談員の数の増加及び相談時間の増加を切望いたします。 ・また、学校以外の市レベルでの相談業務については、窓口の統一と集約化を望みます。 ・スクールカウンセラーは教員、生徒共に各校よく活用され、成果もあがっています。ハートなんでも相談員は、気軽に相談できる存在として設置されているであろうに、学校により相談件数が極度に少ない所もあり、十分に活用され切っていないのでは？ <p>気構えなくてよい、真に寄り添って聴いてもらえる、この方なら信頼して悩みを話せる、共有してもらえる、受容してもらえる—そんな相談員を期待します。型的、スキルの研修でなく、より深い研修を図り、頼れる相談員としての資質向上に努め、設置目標達成に向かって欲しい。</p>	<p>市内小中学校にスクールカウンセラー、ハートなんでも相談員を配置し、児童生徒、保護者、教職員の相談活動、問題解決等に尽力しております。配置校からは、いずれも継続配置を望む声が上がっており、保護者からの要望も強いことから、配置校増も検討していきたいと考えています。</p> <p>また、相談員の資質向上のための研修会の更なる充実も図ってまいります。</p>

その他

- ・学校教育も変わりつつある。体験学習、学級経営、学習指導、学社連携・融合など。教師自身が自主的に研修していく学習サークルが、それぞれのテーマについて、生まれてくるようにしていく必要がある。現にあると思うが、それらをサポートすることが大事だ。
- ・35人学級について、子供たちのためにも教員のためにも、実現していくことを希望します。
- ・「いじめ不登校を生まない楽しい学校づくり」を最重要課題として取り組んでいるにも関わらず、中学生の非行、いじめ、暴力を伴う喧嘩など、校区によっては未だ、問題解決されていない。「いじめは犯罪である、暴力は犯罪である。」という認識を深め、教職員全員が一丸となり、更に地域の力を加えて効果的な生徒指導体制を組み、根絶に向け全力を尽くして当たっていただきたい。

学級編制及び教職員の定数については、法令及び県の基準に基づき定められており、現行の制度のもとでは、市教育委員会のみでの取組では対応することはできません。

生徒指導に関しては、教職員のみならず、保護者、地域、関係諸機関との連携を図り、規範意識の育成のため、積極的な生徒指導の推進を目指します。そのために、生徒指導主事会等で生徒指導体制強化につながる研修を実施します。

担当課：発達支援課

学識経験を有する方からのご意見	取組状況
<p>《事務事業名》</p> <p>小学校障害児教育充実費、中学校障害児教育充実費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学指導委員会のメンバーについては、多様性が図られてきているが、より適切な指導となるように、メンバー選定を図っていくべきと思います。 ・指導員、生活介助員の上に、更に平成20年度より学校支援員の配置により一層に相談体制が充実し、早期発見、サポートファイル作成、関係機関との密な連携、行き届いた指導等がなされ、保護者も児童も従来に増して安心して通学でき、個性を伸ばせる支援ができつつある、大きな進展です。益々充実していく中で将来、社会生活の中で自立できるよう、生きる力の育成につながっていくよう熱く期待します。 ・幼児期から、小学校・中学校そして高校と一貫した教育と援助が受けられるようなシステムを確立していくべきと思います。 ・障がいのある生徒に対し指導員、学校介助員の適切な支援、指導のもとに安心して学校生活ができつつあること評価します。 ・将来、社会の中で自立でき、社会参加できる人間に力強く成長していけるよう特別支援教育の充実を望みます。 	<p>就学指導委員会に専門的な立場から就学相談等に応じる相談員（理学療法士、作業療法士、心理相談員、相談支援専門員）を置いて、子どもの特性やニーズに応じた就学支援を図っています。</p> <p>また、関係機関の連携のもと、個別の支援計画（サポートファイル）に基づいた包括的、継続的な支援システムの整備を図りつつあります。</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者、子どもが心の余裕を持ち、安心して相談に行けるよう発達支援課あるいは相談室を教育委員会のフロアでなく、別の場所に設置する事、一考していただきたい。 	<p>地域における発達支援の中核的機関として、こども発達支援センターを設置し、発達支援諸施策の機能強化を図ります。</p>

担当課：体育文化課

学識経験を有する方からのご意見	取組状況
<p>《事務事業名》</p> <p>体育施設環境整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も限られた予算の中で、有効に実施してください。 	<p>平成21年度は、山根公園テニスコート改修及び市民プールろ過器改修工事を実施いたしました。</p> <p>体育施設は各施設とも老朽化しておりますが、今後とも快適な利用環境を維持するよう必要な箇所から効率的に整備を進めてまいります。</p>
<p>《事務事業名》</p> <p>芸術文化振興事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に邦楽演奏家など、芸術文化に造詣の深い人材が数多くおられると思う。そうした人たちに触れる機会をもっと作り出していく必要もあるのではないか。 ・出前コンサートの回数を増やしていくのがよいと思います。 ・中央の優れた芸術文化に触れる機会の少ない、特に小中学生に、真に価値の高いものを提供することは重要です。感動する心、刺激される心を培い、創造性育成に努めていただきたい。 	<p>昨年度市民提案事業として実施した事業に邦楽分野を加え、平成22年度は新たに芸術文化出前事業を予算化し、子どもたちに幅広く芸術文化に触れる機会を提供するようにいたしました。</p>

<p>《事務事業名》</p> <p>郷土美術館充実事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展の回数増加と入場者の増加を図り、市民の利用者も増やしていくべきと思います。 ・市民への広報を工夫し、観覧者が微増した努力は評価します。更に、魅力的な企画、感動を喚起させるような企画を期待します。 	<p>魅力ある企画展を目指して、地域作家の優れた作品を紹介した企画展を開催し、フリーペーパーなどを活用して、広く市民の方に周知いたしました。また企画展でのワークショップ等を実施し、低年層の利用促進に努めております。</p> <p>市美術展、県展移動展及び一般展の開催をはじめ、館蔵品のロビー展を積極的に実施しております。</p> <p>入館者は、平成20年度は35,897人、平成21年度は38,716人と増加しております。</p>
<p>《事務事業名》</p> <p>広瀬歴史記念館充実事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの企画展の開催と、ホテル・旅行社等とタイアップした入館者増対策が望まれます。 ・市民への認知度、理解度を拓げるため、工夫を加えた特別企画展を実施したことは評価します。更に、広く明日を担う子どもたちが、本記念館の素晴らしさを体感しつつ、広瀬幸平、伊庭貞剛の偉業の跡を学ぶような企画を創出できないものでしょうか。幸平翁らの功績をたど 	<p>通常の特別企画展に加え、平成21年度文化庁「地域文化芸術振興プラン」による県民総合文化祭の事業の一つとして特別企画展「新居浜の登録有形文化財」を開催いたしました。</p>

る中に、別子銅山の歴史、新居浜市の生いたち、近代化への苦闘、物づくりの精神、環境保全への苦しい努力と克服、共存共栄の心等を学んでほしいのです。郷土学習の「宝庫」です。研究的、展示的館から一層に進化させ、未来へつなぐ施設、郷土学習の拠点、生涯学習拠点としての機能を加えていただきたいと思います。子どもたちが生き生きとした郷土を知る事によって、郷土を愛し、郷土を語り、郷土を誇れる人に育っていくと思うのです。職員、ボランティア等の協働で学校へ、子どもたちへつないでいく事を望みます。新居浜南高等学校情報科学部、新居浜商工会議所、新居浜ユネスコ協会、マイントピアを楽しく育てる会等の活発な活動で熱く紹介されて、全国的に注目され、関心を寄せられてきつつある今こそ新居浜市の子どもたちへと期待します！！

また、同企画展は、地域の方々による『山根大通りストリートミュージアム』と協力して開催し、多くの入館者がありました。

また、平成23年5月に新居浜市で開催される『環境自治体会議』にあわせ、伊庭貞剛と環境をテーマとした特別企画展を予定しております。

担当課：学校給食課

学識経験を有する方からのご意見	取組状況
<p>《事務事業名》 給食運営事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、各校の設備老朽化に伴い、センター化への統合を考えていくべき事業と考えます。 ・安全でおいしい給食を提供するためには、適正な調理員等の人員配置や維持管理費が必要です。財政厳しい中ではありますが、常に安全性を最優先に適正値を保って、健全運営を進めていただきたい。 	<p>給食の提供方法について調査、研究を行っています。</p> <p>安全でおいしい給食を提供するため、円滑な運営に努めております。</p>
<p>《事務事業名》 学校給食センター管理運営事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員構成、配置も含め、より効率化を図っていくべきと考えます。 ・学校給食センター選択率が平成13年開所時の54.1%から平成20年度は83.3%迄上昇しています。年々の調理、献立等の工夫や努力が実を結び、安全でおいしく喜ばれる給食になってきた結果と高く評価します。益々信頼される給食となるよう望みます。 	<p>日々、効率化に努めています。</p> <p>今後も調理や献立の工夫により、生徒、保護者に喜ばれる給食づくりに努めます。</p>
<p>《事務事業名》 給食運営改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も優先順位をつけながら、限られた予算を有効活用してください。 ・厨房施設、設備等の老朽化の進む中で、修繕の要望に対応しきれず、厳しい状況と推察します。安全性重視のもと、優先順位で推進していただきたい。 	<p>限られた予算を、有効かつ適正に活用します。</p> <p>厨房器具等は、安全性、緊急性の高いものから計画的に更新を行います。</p>

<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食費滞納については、マニュアルを作成し、努力されておられますが、理由のない方々についてはより厳格に対応していただきたいと思いをします。 生産者の顔が見える安心安全な食材使用を望みます。地産地消を進め、地元産の野菜使用率アップに努力して下さい。楽しい食育教育が推進されていますが、更に期待します。 	<p>学校給食費滞納対応マニュアルに沿って、理由のない未納者に対しては、厳格に対処します。</p> <p>今後においても、地産地消の推進を図り、安心、安全な食材を使用し、食育活動に努めます。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

担当課：図書館

学識経験を有する方からのご意見	取組状況
<p>《事務事業名》</p> <p>図書館利用促進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄贈本募集により蔵書を増やす。図書館に入らないものは、各公民館、あるいは種類によっては学校図書館、学級文庫へ。寄贈本というのは、自分が読んだ本で必要でなくなった本を寄贈してもらうだけ。 ・本の読み聞かせボランティアの養成が必要だ。 ・他市の事例等も参考にしながら、様々な取組をされていますが、今後も更に新しい取組を積極的に実施されることを期待します。 ・地域の情報拠点、生涯学習支援施設として、市民の多様なニーズに的確に対応すべく様々な改革改善を加え、チャレンジ精神で推進し、大きく成果をあげていることを高く評価します。入館者数、貸出し冊数も共に増加し、努力の跡は数値にも出ています。明るく生き生きとした図書館に変容しつつあること、市民にも実感されています。 	<p>寄贈本につきましては、予約が多い本に対しては募集を行い、その他の寄贈本で蔵書に向かないものは学校図書館等で活用いたしました。</p> <p>また、学校等の読み聞かせボランティアへの研修を実施いたしました。</p> <p>平成21年度の入館者数は、255,427人（一日平均893人）、平成21年度の貸出点数は、701,630点で平成20年度より、約61,000点増加しています。</p>

<p>《事務事業名》</p> <p>ブックスタート実施事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センターに来られない人はどうなるのか。各公民館、保育園などで読み聞かせボランティアに活躍してもらい仕組みを創り上げていくことである。 ・継続実施で、より成果を上げてください。 ・5ヵ月児健康相談時に司書2名が出向き、創意工夫した熱心な方法で、指導と案内を提供。ブックスタートパック対象者への配布率も96%に上昇し、心強く感じます。乳幼児の親子連れ来館増、若い母親の利用増等、この事業の実施の効果と推測されます。乳幼児の時から親子で絵本に触れる楽しさ、本に親しむ大切さへの理解が深まることを益々推進して下さい 	<p>5ヵ月児健康相談に来られない方に対し、保健師による家庭訪問の際に届けています。</p> <p>毎月1回実施している乳幼児向けのお話会には30～40組の参加があり、増加傾向にあります。</p> <p>また、ブックスタートフォローアップ事業「いきいき子育て1. 2. 3」を実施し、お話会、リズム体操、食育のお話に58組の参加がありました。</p>
<p>《事務事業名》</p> <p>学校図書館支援推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用に「楽しみ読み」と「調べ読み」があるが、それらをどう絡めながら支援していくかが大事だろう。 ・教員の図書館への理解を深めていく必要がある。教員が図書館を利用する頻度をどう高めるかが大事。学校図書館に教師が利用できる図書の実用も図っていくことだ。 ・本事業は、子供たちの基礎学力を向上させるという面からも、是非とも継続実施していくべきものと考えます。 ・学校図書館支援員4名を小中学校に派遣。初年度から支援員達が自ら研修を重ね、意欲的に活動し、図書館整備、読書支援、学習支援を的確に実施して予想を超えた成果をあげたことは画期的な新規事業と高く評価します。図書館がきれいになった、図書館が楽しくなっ 	<p>小学校2校、中学校5校の図書館整備をいたしました。</p> <p>出前講座では、本を紹介するブックトークや分類講座等の学習支援を重点的に実施いたしました。</p> <p>(55講座、約2,900人)</p> <p>船木小、多喜浜小、船木中には資料提供等による授業支援や児童・生徒のほかに教職員向けの図書館の使い方等のオリエン</p>

<p>た、本の選び方がわかりやすくなった、本を読むのが好きになった、自分で本を探し、資料を使ってレポートが書けるようになった、一等の声が聞こえてきます。未来を感じます。読書に親しみ、自ら学び、自ら伝える力の育成につながっていくものと確信します。継続して増員され、益々拡充されていく事を望みます。</p>	<p>テーションも実施いたしました。</p> <p>調べ学習用図書や教職員向けの図書約800冊を購入し、活用しております。</p> <p>また、「支援員だより学校来ぶらり」を児童向け1回、教職員向け3回作成し、配布いたしました。</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館に人が集まる取組努力をこれまでもしていただいています。今後一層、市民に対する情報発信の基地として、また、学びと啓発の場として、更には、憩の場として各界各層の利用客が増大する取組努力を期待します。 ・学校図書館支援員の役割、活動ぶりが別子銅山記念図書館に展示されると共に、市政だよりでよりよい形で広報され、この事業の導入が多くの市民から理解され、支持されるようになっていきます。期待される図書館に前進しています。 	<p>秋の読書週間行事として11月に「図書館まつり」を開催し、ブックリサイクル、手作り本講座、図書館見学、お話し会等で一日市民の方楽しんでいただいております。</p> <p>また、図書館ロビーへの定期的な展示及びホームページへの掲載を行っております。</p>

第2章

教育委員会活動報告

平成21年度の教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議での審議等件数

(1) 定例教育委員会会議 12回

(2) 臨時教育委員会会議 3回

2 会議開催時期及びその他の活動状況

区分	会 議		その他の活動（表彰式等）
	教育委員会会議	その他の会議	
4月	定例会(4/3) (議案1件)		○第1回小中学校長会(4/13) ○退職教職員功労者会(4/17)
5月	定例会(5/7) (議案2件)	○愛媛県市町教育委員会 連合会理事会(5/11) ○四国都市教育長連絡協 議会(5/14) ○「えひめ教育の日」推 進会議平成21年度定 期総会及び市町教育委 員会教育長会議(5/18)	○学校訪問(5/13～7/3) ○新居浜市PTA連合 会定期総会(5/16) ○市議会(5/18) ○教育懇談会(5/26～ 7/3) ○市議会(5/26)
6月	定例会(6/4) (議案7件,報告1件)		○市議会(6/1～6/18) ○ふれあい運動会 (6/12) ○第1回特別支援教育 研修会(6/21)
7月	定例会(7/9) (議案2件,報告1件)	○愛媛県市町教育委員会 連合会定期総会(7/16) ○管内教育長会(7/28)	○小中子ども会議 (7/26) ○新居浜子ども環境サ ミット(7/30) ○親子手づくり教室 (7/31)
8月	定例会(8/4) (議案2件)		○第2回特別支援教育 研修会(8/2) ○第3回特別支援教育 研修会(8/20) ○「子ども見守り活動 研修会」兼「学校支 援地域本部事業子ど も見守りボランティ ア研修会」(8/29) ○夢広がる学校づくり

			推進事業審査(8/20)
9月	定例会(9/3) (議案3件,報告1件) 臨時会(9/15) (報告)		○市議会(9/1~9/17) ○企画展「高橋祥翠書展」開展式(9/12) ○中学校運動会(9/13) ○小学校運動会(9/27)
10月	定例会(10/1) (議案1件)	○平成21年度地方教育行政功労者表彰式(10/14,15)	○市民体育祭(10/10)
11月	定例会(11/12) (議案6件) 臨時会(11/20) (報告)	○「えひめ教育の日」制定記念大会(11/1) ○平成21年度市町村教育委員会研究協議会(11/19,20)	○市議会(11/30~12/17) ○小中学校人権・同和教育研究大会(11/18) ○各校区文化祭
12月	定例会(12/3) (議案1件,報告1件)		○こころのことばコンクール表彰式(12/26)
1月	定例会(1/7) (議案2件)	○教育委員研修(1/29,30)	○小中学生科学奨励賞表彰式(1/16) ○企画展「森本洋油絵展」開展式(1/16) ○平成22年成人式(1/10)
2月	定例会(2/4) (議案2件)		○新居浜市PTA連合会研究大会(2/14) ○市議会(2/22~3/19)
3月	臨時会(3/10) (議案1件) 定例会(3/11~3/31) (議案13件,報告5件)		○中学校卒業式(3/17) ○小学校卒業式(3/24)

※教育委員会会議については、会議録を新居浜市のホームページに掲載

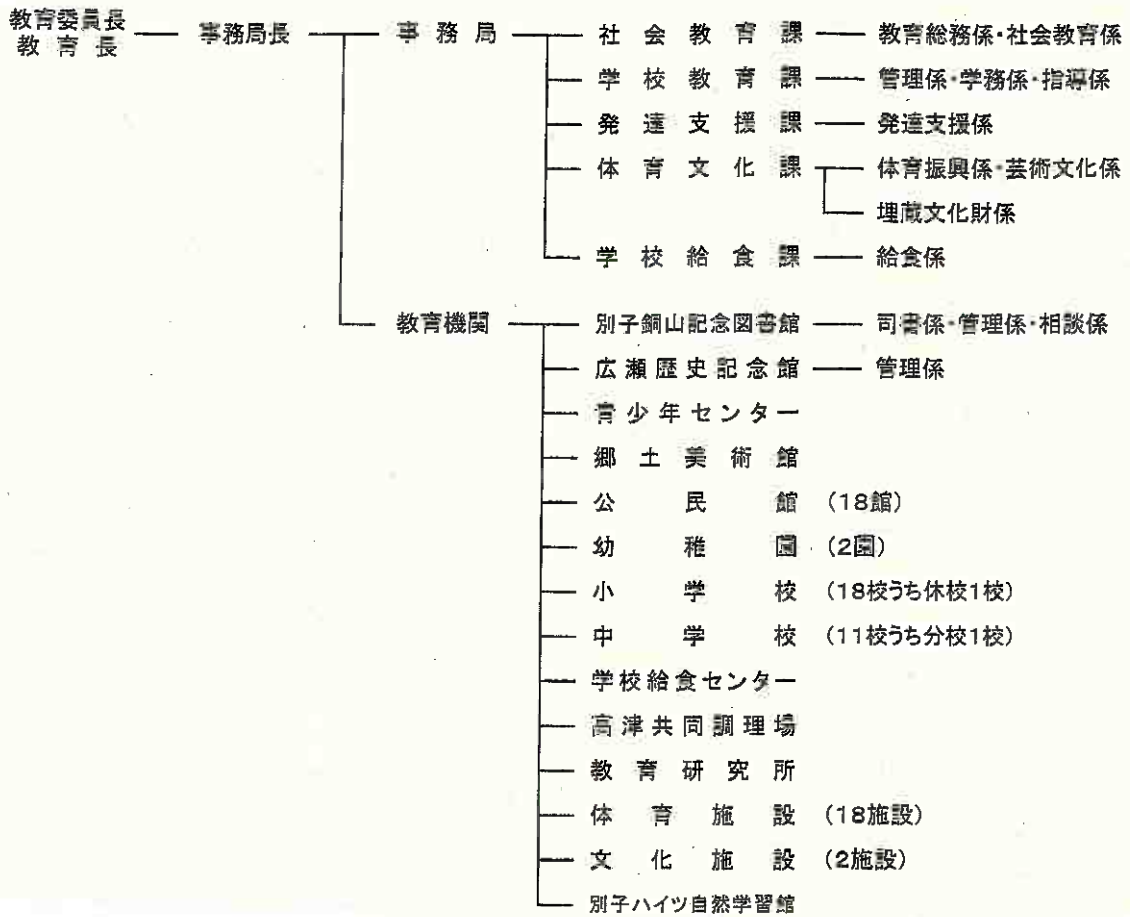
3 教育委員の就任状況（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

氏名	役職	摘要	任期満了年月日
宇野 征一	委員長	H21.8.9 委員長選任	H23.12.23
太田 恵理子	委員長職務代理者	H21.8.9 委員長職務代理者指定	H23.12.23
三木 由紀子		H21.6.27 新任	H25.6.26
小野 正師		H18.12.24 再任	H22.12.23
阿部 義澄	教育長	H20.4.1 再任	H24.3.31

参 考 资 料

組 織 図

(平成22年5月1日現在)



職 員 数

(平成22年5月1日現在)

	定 数	現 員
事務局	37	37
教育機関	76	55

	課 所 別	職 員	臨時職員	非常勤職員	委託職員	計
事務局	社会教育課	8	2	1	2	13
	学校教育課	13	1	10		24
	発達支援課	6		6		12
	体育文化課	7	1			8
	学校給食課	3	1			4
教育機関	別子銅山記念図書館	9	8	7		24
	広瀬歴史記念館	2		4	1	7
	青少年センター	1	1			2
	郷土美術館		3	1		4
	公民館	5		66		71
	幼稚園	6	4	2		12
	小学校(原資教職員を除く。)	28	5	134	7	174
	中学校(原資教職員を除く。)			51		51
	学校給食センター		21	15		36
	高津共同調理場	4	1	11		16
	教育研究所			1		1
	計	92	48	309	10	459

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成 22 年度（平成 21 年度対象）新居浜市教育委員会点検・評価報告書

発行 新居浜市教育委員会

編集 社会教育課

お問い合わせ先

〒792-8585 新居浜市一宮町一丁目 5 番 1 号

電話：(0897)65-1300 / Fax：(0897)65-1306

E-Mail syakyou@city.niihama.ehime.jp

ホームページ <http://www.city.niihama.lg.jp/>

発行 平成 22 年 1 1 月
